

【新型コロナウイルス感染症対策におけるICTを活用した学習の取組】

取組事例の紹介 特別支援教育①

■ 学校による家庭学習支援の取組

(東京都立光明学園／千葉県立四街道特別支援学校／大阪府立中央聴覚支援学校
／大阪府立堺聴覚支援学校／岐阜県立不破高等学校)

- オンラインで、校長の挨拶、担任の呼びかけ、健康状態の把握、個々に応じた読み聞かせや歌などの指導を実施している。（東京都立光明学園）
- 入院している生徒に対して、教材等を届けるとともに、普段の授業で使用している遠隔システムを利用して、同時双方向型で課題の説明や質疑応答等を実施している。（千葉県立四街道特別支援学校）
- 小学部では、動画共有サービスを活用して、教師からの挨拶や学校からのお知らせ、手話や指文字などを使用した身近な題材を学習する寸劇等の動画を配信している。中学部では、テレビ通話アプリを活用して、段階的に小グループ（数名）での同時双方向授業を実施している。（大阪府立堺聴覚支援学校）
- テレビ通話アプリを活用して、一人一回20分程度で、個別に学習に関する質問や生活上の相談に対応できるようにしている。（大阪府立中央聴覚支援学校）
- 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するため、個別又は少人数で、オンラインによる「自己探求」（通級による指導）を実施している。（岐阜県立不破高等学校）



【東京都立光明学園における取組】

【新型コロナウイルス感染症対策におけるICTを活用した学習の取組】

取組事例の紹介 特別支援教育②

■ 教育委員会による家庭学習支援の取組 (千葉県教育委員会)

各学校に協力を依頼し、障害のある児童生徒が、家庭で保護者等と一緒に学習することができるよう、学習動画を作成し、公開している。



【千葉県教育委員会／千葉県総合教育センターのwebサイト】

■ 特別支援学校と放課後等デイサービスとの連携 (千葉県立松戸特別支援学校)

Web会議システムを利用して、児童生徒が利用している放課後等デイサービスすくすく（柏市）と学校とが、それぞれが行っている姿勢の保持や楽器演奏の様子などを相互に発信。リアルタイムで児童生徒への支援について、情報交換、情報共有でき、それぞれの場での生活の充実につながっている。



※ 学校での預かり時の様子を発信